

### 「当事者」体験発表への感想

- (1) 無理のないペースで、生きやすい場所、理解者が必要であること、世間の壁に囚われなくて、優しさをもっていけば道が開けることを学びました。(2年間の不登校の娘を持つ親)
- (2) 3人の不登校体験は自分で選んだ不登校でしたが、他からの圧力で不登校となりそこから社会に出て行った子供たちの体験を聞いたかった。不登校の5人の子供さんを持つ親の体験は、今後の人生について紹介してほしい。5人とも満足する人生ではれば、日本の学校・教育について再考する必要があると思う。
- (3) MEMO-netという団体について知り、行ってみたいと思った。3人の体験は、自分自身を責める癖がついていたが、色々な考え方、人生があることを教えてくれ、安心しました。自信をもって色々なことをやって見たいと思います。有難うございました。(兄妹で「あゆみ」で、少しずつ元気となっている女性)
- (4) 大変貴重なお話しを有難うございました。息子は、「あゆみ」に行ってから明るく元気になり、気軽に話ができるようになりました。今回のお話を参考にして、子供を信じて見守っていきたくと思います。(23歳の息子さんを持つ母親)
- (5) 大切なお話しを聞き、不安な心に、子供を認める、信頼する、諦めない事が、今の状況から出口に向かうことだと思いました。
- (6) 学校に行っていないことをマイナスに捉えない、自分の理想を追うより、自分がやりたいことをやるという考え方が大変参考になりました。自分も周りを気にするのではなく、「本当の自信」を持って生きていけたらいいなと思います。
- (7) まだ、恐怖感、不安感があつて、社会に出て行けない状況です。体験を話した皆さんが生き生きとしているのが印象的でした。社会に出て行った頃のお話しをもう少しお聞きしたかったです。自分の人生をどう豊かにしていくか、もっと考えていこう、自分にあう場所を探そうと思います。
- (8) とても心が動かされました。苦しくても家族が一つになる絆の強さを感じさせられました。自分にだって出切ることもある、隠された才能があることに時間がかかっても気付けるかもしれません。
- (9) 3名の体験は、それぞれ異なった動機がきっかけで不登校・引きこもりになったことを豊かな自己表現で、自分の気持ちをありのままに話してくれたこと良かった。人生を大切にしていくことが、キーポイントになると思います。
- (10) 3人の方の話を通じて、「学校にいけない私は悪くない」、「遠慮する必要はない」、「学校に合わない子が学校に行って、健全に育つのか」、これらの言葉が私にとって大きな収穫でした。
- (11) 1人の体験は共鳴できにくいものを感じた。しかし、自分に対する否定的なイメージをもたない、良い意味での楽天さは凄くよいもので、そこは、ご両親もアツパレだったのだと思う。自分を受け入れてもらえる、認めて貰えるというのは、ものすごく大切である。世の中、皆がもっと気楽に生きてゆける道はないものかと思う。
- (12) 学校側はもっと不登校の子どもの声をどんどん聞くべきですね。「困った子」は、「困っている子」です。集団教育の場に合わない子が行く場所、また、そういう家族や子供が助かる機関が必要かと思っています。一番身近な親がまず一番の理解者になる必要があるならば、親がこのような会に積極的に参加し勉強しなければと思っています。自分の輝ける場所をうちの子見がつけて欲しいです。
- (13) お話しを聞いて、今は考え方が少しポジティブになりました。
- (14) 「肯定的な空間でこそ休める」、「押し付けられた社会性は要らない」はなるほど名言でした。
- (15) 元気をもらいました。これから、頑張ってください。応援しています。
- (16) とても参考になり有難うございます。厳格な家庭で育ったため、子供も同じように育てようとしていると子供に指摘され、考え方を改め始めました。今日の話聞いて、信頼することの大切さを確信しました。